

新年度が始まりもうすぐ2ヶ月。学校生活にも慣れ、家庭での生活リズムが崩れがちな時期でもあります。そこで、今回は、令和5年度に実施しました“子育て応援「ゆい高千穂」事業”の生活リズム三行詩とポスターに応募のあった作品の中から入選作品をご紹介します。

規則正しい生活リズムができているか、家庭で振り返ってみましょう。

生活リズム三行詩

〈小学生低学年の部〉

★大賞
かちたいな
スマホのゆうわく
なつやすみ

(高千穂小・三澤杏)

あそぶはしるあるく
これで
げんき

(田原小・迫田 日世里)

おはようの
あいさつできまる
きょうのぼく

(押方小・十時 怜音)

たぶれつと
みるじかん
かぞくとやくそく

(高千穂小・甲斐 達季)

あさごはん
からだもこころも
にっこにこ

(押方小・加藤 由奈)

はやくねて
たのしいゆめが
見てみたい

(高千穂小・興梠 結愛)

いいにおい
お母さんの
三しょくごはん

(高千穂小・橋本景慈朗)

ねっちゅうしょう
きをつけながら
外遊び

(岩戸小・木下 創介)

早くおき
みんなに元気を
おすわけ

(岩戸小・佐藤 葵士)

スマホより楽しい
庭でのキャッチボール
父との時間

(田原小・高野 世那)

テレビより
目を見て話そう
家族の時間

(田原小・高野 世那)

メディア利用
へらしてふえる
家族時間

(田原小・安在 智樹)

いい笑顔
食うねる遊ぶ
全力で!!

(高千穂小・甲斐 心乃助)

早くねて
明日の自分に
備えよう

(上野小・平川 結絆)

はやおきて
生活リズム
ととのえよう

(高千穂小・松田 麗音)

朝ご飯
いつもの味に
ほっとする

(高千穂小・飯干 健斗)

早起きをして
家族の分の朝ご飯も
作りたいな

(岩戸小・橋口 明)

走り出す
その源は
朝ごはん

(岩戸小・佐藤 美莉)

悪いのは
スマホじゃなくて
使い方

(高千穂中・橋本 恋桃)

要注意
スマホに睡眠
盗られるな

(高千穂中・中尾 洸太郎)

一日の始まりは
どんなグルメにも勝る
母の味噌汁

(高千穂中・佐藤 蒼士)

増えるメディア時間
休ませてあげて
目と心

(高千穂中・吉永 理乃)

SNS
リアルと区別を
つけようね

(高千穂中・田邊 璃彩)

その問題
スマホに聞かなくや
だめですか?

(高千穂中・田崎 大悟)

★大賞
悪いのは
スマホじゃなくて
使い方

(高千穂中・橋本 恋桃)

走り出す
その源は
朝ごはん

(岩戸小・佐藤 美莉)

悪いのは
スマホじゃなくて
使い方

(高千穂中・橋本 恋桃)

要注意
スマホに睡眠
盗られるな

(高千穂中・中尾 洸太郎)

一日の始まりは
どんなグルメにも勝る
母の味噌汁

(高千穂中・佐藤 蒼士)

増えるメディア時間
休ませてあげて
目と心

(高千穂中・吉永 理乃)

SNS
リアルと区別を
つけようね

(高千穂中・田邊 璃彩)

その問題
スマホに聞かなくや
だめですか?

(高千穂中・田崎 大悟)

生活リズムポスター

★大賞



(高千穂小・津田 湊亮)

メディア時間
勉強時間に
反比例

(高千穂中・甲斐 貴翔)

メディアより
話して増やそう
みんなの笑顔

(高千穂中・松崎 雫)

早寝・早起き・朝ごはん
心と体の
特効薬

(高千穂中・藤寺 弥香子)

◇入賞者

岩崎瑠々(高小)・橋本妃子(高小)

津田千尋(高小)・興梠珠奈(高小)

工藤絢泉(高小)・田邊璃彩(高小)

吉永理乃(高小)・興梠百花(高小)

菊池幸輝(高小)・飯干彩有(高小)

工藤秋桜里(高小)

ポスターの入選作品はカレンダーとして小中学校や町内施設に掲示しています。

※学校名は応募当時のものです。

地域おこし協力隊の そうなっちゃ! 高千穂

高千穂高校が導入する「全国枠」って？

春も終わりが近づき、夏の足音が聞こえる季節となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか?暑い夏がとにかく嫌いな高千穂高校魅力向上コーディネーターの工藤です。

さて、今回は3月に宮崎県教育委員会から発表された、高千穂高校の「全国枠」の導入について解説していきたいと思います。

「全国枠」とは、都道府県関係なく全国からの出願、受験をすることができる入試制度のことを指します。

つまり、高千穂高校に県内からだけでなく、県外からも生徒が集まることになります。令和7年度入学生からこの制度を利用する受験が可能です。県内では、飯野高校および高鍋農業高校が既にこの全国枠を導入しており、宮崎海洋高校も高千穂高校と同じく令和7年度から全国枠を導入することが決定されています。

この「全国枠」を導入することにより、単に高千穂高校の生徒数が減ってきているから、外から人を呼び込んで生徒数を維持しようということだけではなく、地域の生徒たちがより多くの刺激を受けながら学び合える多様性のある学習環境の構築と、西臼杵3町の地方創生のための関係人口を創出することができると考えています。

また、高千穂町は九州でも有数の観光地であり、世界農業遺産やユネスコエコパークの国際認証も獲得している地域資源が豊かな地域です。豊かな自然と古くから伝わる伝統文化を有する高千穂町をフィールドに、県外から入学する生徒たちにとっては、都会では味わえないような貴重な経験ができる3年間になると考えています。

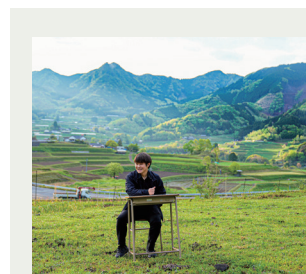
私はこの2年間、地域みらい留学365(高校2年生の1年間だけ都市部の高校から地方の高校に国内留学できる制度)に携わってきました。

この制度を利用して留学してくる生徒はたった1年間だけしか高千穂にいないのですが、帰る時期が来ると寂しがり「都会に帰りたくない、高千穂に居たい」と言ってくれます。



県外生徒が活動する様子

そんな魅力あるこの高千穂で郡内の生徒にとっても、全国から集まる生徒にとっても意義のある高校生活を提供できるように、これからも魅力向上コーディネーターとして魅力向上の取り組みを推進していきます。



工藤 天裕
Kudo Takahiro

高千穂町岩戸出身。
令和4年4月に着任。
総合政策課所属。
高千穂高校魅力向上
コーディネーターとして
高千穂高校に常駐し活
動中。
好きな山は「Lucky
Kilimanjaro」。